

令和7年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【国語】

1 採択教科用図書

- 光村図書

2 採択理由

(1) 光村図書は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 単元の構成については、「見通しをもつ」で学ぶ内容を確認し、「学びのカギ」を手掛かりに学習を進めるとともに、「言の葉ポケット」で学びを深め、「振り返る」で資質・能力の定着を図る工夫が見られる。
- 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、教材の学習の流れが段階的に示された「学びへの扉」や学習のポイントがまとめられた「学びのカギ」が設けられ、生徒が見通しをもち、自らの学びを確認しながら学習に臨める工夫が見られる。
- 生徒にとっての分かりやすさについては、「学びのカギ」一覧において、領域ごとに1年間の学習内容がまとめられ、生徒が身に付けた力を確認し、学習に生かせる工夫が見られる。

(2) 光村図書は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 生徒が、これまでの学びや経験を生かすことについては、「学びのカギ」一覧を示し、学びを生かす場面を紹介しながら学ぶ意欲を高めるような工夫が見られる。
- 自分の住んでいる地域と関連付けて考えられるようにするために、目的や相手に合わせた案内文の作成や、地域の課題について話し合う学習ができるようになっている。

椎葉村教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、光村図書の教科用図書が最適であるとして採択した。